

# 上北沢桜並木会



平成26年4月27日 発行

上北沢桜並木会議

連絡先 代表 石井 昭

上北沢 3-23-10 TEL3303-1524

HP <http://www.sakuranamiki.org/>

お問い合わせ: info@sakuranamiki.org



## 桜並木の現状 - 3月2日 花芽観察会(対策・観察結果)より-

上北沢桜並木の桜は全部で45本あります。

その内、植栽して5年以内の桜(若木)は7本(16%)です。

今年の3月2日に行った観察会において、石井誠治樹木医による桜診断結果をみると以下のとおりです。

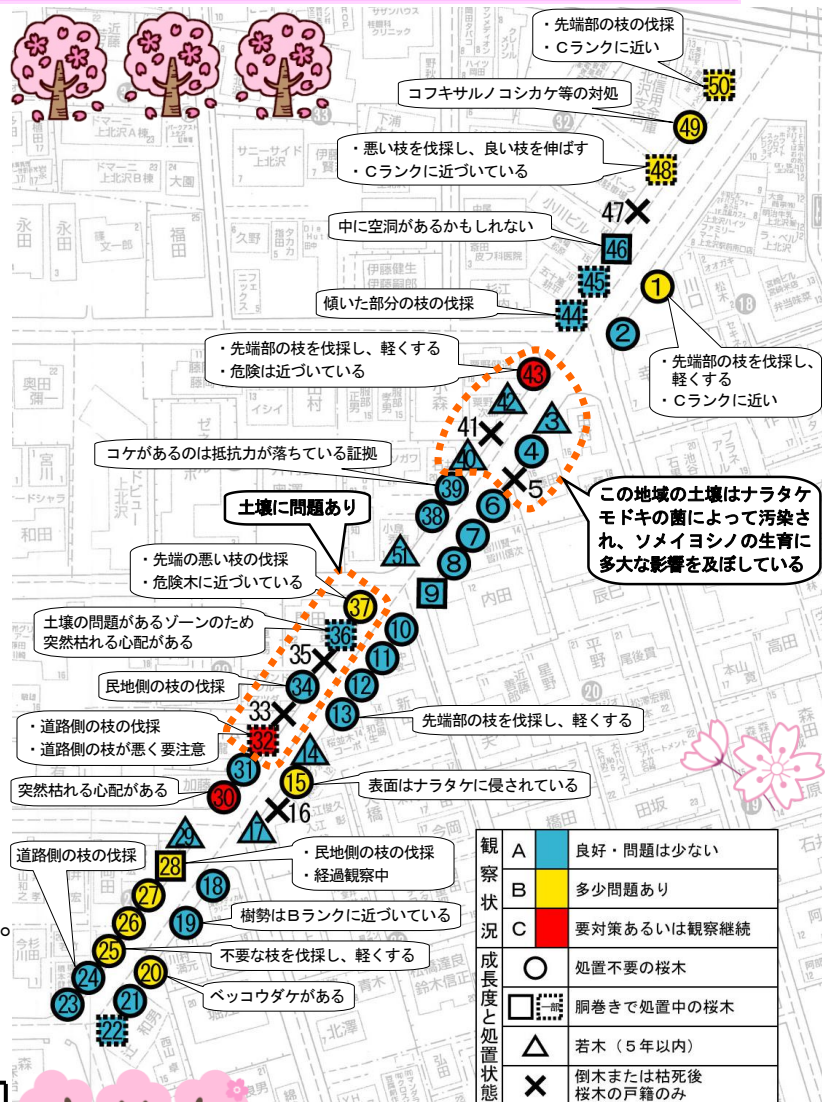
若木以外の桜は38本で、A(良好)、B(普通)、C(悪い)の3ランクに分けると、半数以上は良好な状況でした。

	本数	%
A (良好)	24	63
B (普通)	11	29
C (悪い)	3	8

しかしながら、BランクであってもCランクに近いものは4本、AランクであってもBランクに近いものが1本あります。

胴巻きで何らかの養生をしているものは9本(38本中の24%)です。

上北沢の桜は菌におかされた土壌の問題も含めて、年ごとに弱ってきているのは事実です。



観察状況	A	良好・問題は少ない
	B	多少問題あり
	C	要対策あるいは観察継続
成長度と処置状態	○	処置不要の桜木
	□	胴巻きで処置中の桜木
	△	若木(5年以内)
	×	倒木または枯死後桜木の戸籍のみ

### No.40の桜の植え替え



石井樹木医判定(平成26年3月2日)

この桜の種類は、オオシマザクラ系のシロタエです。

上北沢の桜並木は概ねソメイヨシノです。

植え替える場合は、今後もソメイヨシノを進めていくという方針に変わりはないのですが、この位置は、恐らく土壌そのものに原因があって、ソメイヨシノを植えるたびに何度も枯れてしまいました。

今回は石井誠治樹木医のご意見を基に、区の公園管理事務所の協力を得て、新しい樹種に挑戦しました。

この種が過去に枯れてしまった要因と考えられる「ナラタケモドキの菌」に対抗できるのか否かは判りませんが、頑張っ育ててもらうことを期待します。



オオシマザクラ系のシロタエ





# 平成25年度の会計報告と平成26年度の予算計画



昨年度の収支結果と今年度の計画の詳細はつぎのとおりです。

## 【25年度の収入】

会費（寄付金含む）：274,500 円

その他収入：25,560 円

合計：300,060 円

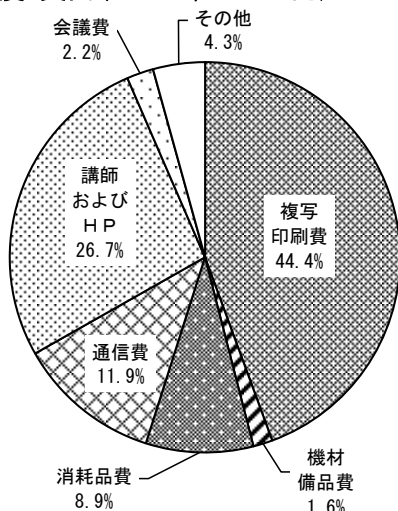
## 【26年度の収入予定】

会費（寄付金含む）：250,000 円

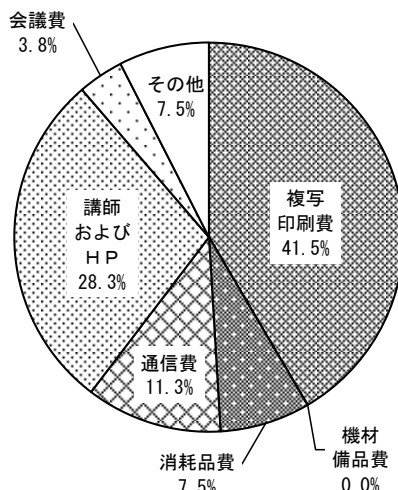
その他収入：15,000 円

合計：265,000 円

## 25年度 支出(241,189円)



## 26年度 支出計画(265,000円)



平成25年度の実績では約6万円の残額となりました。  
前年度の繰越金を含めて平成26年度の会計に繰り入れます。

平成25年度の実績を基に全体で26.5万円の計画としました。

## 皆様から25年度の会費をいただきました



4月27日現在、個人:125人、法人:6社、計:131人・社の方から合計274,500円をいただいています。ありがとうございました。

### 【平成25年度 会費納入者】

[順不同・敬称略]

**個人** 青木昭明 青木俊江 青木正史 赤須美智子 新井貞次 荒井都志子 井伊和子 飯田晴美 五十嵐千代 池谷和子 石井昭 石井直美 石井誠治 石井秀夫 石井玲子 出田義明 伊藤佳代 伊藤万喜子 井上雅人 井上慶子 受川包子 内田正子 (海老沢仁子) 大澤義正 大野邦子 大野隆一 大橋真理 岡田慎太郎 奥住弘子 落合貴之 乙竹和子 勝村静子 金子紀子 上村米 河原塚晴江 木内二郎 君島敦子 银杏陽子 栗林弥 小池初子 古上和子 小島秀康 小松利一 小松利夫 小松由美子 近藤恭子 斎藤泰彦 齋藤靖彦 佐竹留美子 佐藤千枝子 佐藤三鈴 佐藤恭雅 柴田好恵 下田道子 杉浦弘和 杉江靖子 杉山正範 鈴木美千枝 関口宏 曾根田道子 高木健一 高田薫 高田江里 高橋孝 滝沢稔 竹村健 田中優子 田中由紀子 谷平達昭 玉川博記 田村明義 辻和男 土屋徳之助 寺倉恭尚 富田哲夫 内藤雄一 長尾利雄 長峰博明 長峰久美子 中村伊都子 中村正明 中村洋一 難波誠一 新納賢夫 新田ノブ子 野口欣一 野口妙子 野口幸男 野田有一 (野本秀旺) 萩原礼人 橋本喜寿 林昌二郎 原哲也 原由子 東哲也 日比晴昌 広澤克実 福永順彦 福永成子 福山浄加 藤井邦宏 藤田則大 藤本彩子 星野慎一郎 星野真理 堀江ミュキ 堀川主計・雅子 前田邦子 松井伸崇 松本晃一 皆川賢一 宗岡朋子 村上雅子(勲) 元木秀夫 森田英介 森田實 八木崇 安武緑 山口雪子 山崎曜 山崎耕宇 山室和夫 和田和典 渡辺弥恵子

**法人** (株)アリーナ おがわ整骨院 桂眼科クリニック 上北沢動物病院 (株)川越屋 [浅倉哲三] (株)幸作

桜並木会議の活動にご賛同いただける方、ぜひ一緒に参加して、身体と頭を動かしてみたいかがでしょうか。どこにお住まいでも構いません。

メールアドレス(info@sakuranamiki.org)にご連絡いただくか、区民センターで行う会議か催し物にご参加下さい。お待ちしております!

## 上北沢小学校へ移植した桜の状況 -4月15日-



上北沢の桜並木から、桜の子孫を育てることを目的に、桜の接ぎ木をしました。当初は13本を接ぎ木しましたが、最終的に上北沢小学校へ移植できたのは1本だけです。

2009年(平成21年) 3月	小金井公園桜守のご協力によって小金井公園で接ぎ木を実施(13本)
2010年(平成22年)12月	八幡山はらっぱ広場へ移植(2本)
2013年(平成25年) 2月	八幡山はらっぱ広場から上北沢小学校へ移植(1本)
2014年(平成26年) 4月	開花

2010年に八幡山はらっぱ広場に移植できた2本のうち1本は枯れ、1本はどうか育っているように見受けられました。

しかしながら、その育った桜は、接ぎ木したときに「台木」として用いた桜だったようです。

小金井公園で台木として用いた桜は「オオシマザクラ」と言われていましたが、花が咲いた今年の状況を観察した石井誠治樹木医は「マザクラ」であったとのこと。

また、石井誠治樹木医は「マザクラは台木に使われることが多く、花を見るのが少ない品種です。私も始めて見ました。」とのことでした。

桜並木会議では、上北沢の桜の子孫ではないことがはっきりしましたが、5年間大事に育てた桜ですので、上北沢の桜として大事に見守ってゆこうと思っています。

上北沢小学校の校庭で京王線に近い側に植えられていますので、皆さんに見ていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



接ぎ木した桜「マザクラ」(タテ看板は「オオシマザクラ」)

## 会費 及び 寄付 のお願い

よろしくお願いいたします



当会議の活動の趣旨に賛同くださる方に、会費または寄付金のお願いを申し上げます。会費(個人会員は1口1,000円以上、法人会員は1口5,000円以上)、寄付金は任意です。同封いたしました振込用紙をご利用いただくか、5月8日の活動報告会当日の受付にお申しつけください。なお、このお願いと行き違いで、すでに今年度の会費をお納めいただいている方には、失礼をお詫び申し上げます。

### 上北沢桜並木会議とは?

上北沢駅前の桜並木は、80年余前に開発された住宅地に植えられ、その後、地域のシンボルとして、地元の人々に親しまれながら、近代化の時代の流れの中を生き抜いてきました。

桜並木を中心とした街区は、昭和59年には「せたがや百景」に、平成14年には「世田谷風景づくり条例」に基づく「地域風景資産」に、選ばれています。

桜を大切にする心を種として生まれた、上北沢桜並木会議は、地域のコミュニティとしての役割を果たすことをめざしています。

お問い合わせ: info@sakuranamiki.org

連絡先: 石井 昭 TEL:3303-1524



- 桜並木会議が行う月例会(第3火曜日18:00~)や行事等に、是非ご参加下さい。会議の場所は上北沢区民センターです。
- 桜並木会議の活動状況は、HP(<http://www.sakuranamiki.org/>)で報告していますので、ご覧下さい。

